

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
トライデントデザイン専門学校		平成1年1月31日	坂本 直之		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 河合塾学園		昭和53年8月1日	河合 弘登		〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-1-11 (電話) 052-582-1785		
目的	インテリアデザインの分野において、幅広く厚みのある能力を身につける。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養	文化教養専門課程	インテリアデザイン学科		平成22年文部科学省告示第153号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 2070	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		330	1740	0	0	0
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人		36人	1人	6人	7人		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成果物、小テスト等による総合判定。			
長期休み	■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月24日～1月7日 ■学年末: 3月17日～3月31日		卒業・進級条件	進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個別、あるいは保護者同席での面談		課外活動	■課外活動の種類 スポーツ大会、学園祭、デザイン研修の参加 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 中尾建設工業、成美、ドリームバンク、スペース、アムテス、エスター、メイドインハウス、福田造園 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	商業施設士・商業施設士補 インテリアコーディネーター			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 3.6% 平成27年4月1日 在学者 28名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 27名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 個別面談、保護者会の実施。学費支援制度の導入。						
ホームページ	URL: http://design.trident.ac.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

常に業界第一線の状況を把握し、最先端の知識や技術を学校として吸収し教育内容に反映していくことはもちろんのこと、学生への教授についても第一線の仕事のすすめ方なども熟知したうえで実施するため、本校で開催する教育課程編成委員会においては、関連企業、業界団体、学識経験者等からの要請、提言を聴取し、該当学科、ひいては学校全体の教育運営に資することを目的とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属
清水 正人	株式会社バウハウス丸栄
内藤 恵子	中部インテリアプランナー協会

(開催日時)

第1回 平成27年6月 9日 15:30~17:30

第2回 平成28年1月26日 13:30~15:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業との連携による演習等の科目においては、企業の業務水準を現実的に体感させることを主目的に設定する。疑似体験的な演習講義を通じて、企業で日常使われている技術・知識を体験、習得させる。また、授業を通じて学生たちが生み出した成果物に対する評価においても、学校という教育環境下での評価ではなく、市場を見据えた企業の現実の評価基準での判定を実施していただく。また、こうした演習全体を通じて、社会人基礎力を涵養していくことも合わせて目的に設定する。

科目名	科目概要	連携企業等
「住まいのデザイン」	建築・設計を学ぶ者としての入門編。まずは自分の理解できる空間の大きさでのマイルームの提案や小規模な商業空間の課題で、その空間をより楽しく、使い易い空間計画ができるように具体化できることに取り組む。また、図面を読み取る力を育成するために、インテリアの専門雑誌から図面を読み取り、作家の意図する空間の表現を理解するために模型に立体化して把握する訓練を行う。産学連携授業で高齢者に適したイスデザインを提案する。	ナゼロ株式会社
「インテリアデザインⅠ」	商業空間のデザイン、住空間のデザインを実践的な課題により提案ができるように感性、技術を習得する。	株式会社ヨシックス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門学校教員として、自己の専門分野における最先端の知識・技術の習得のために、業務上一定の時間を費やすことを学校として求めている。ただし、個人の努力目標のみではなく、業界第一線の知識・技術の習得については学校として機会を積極的に提供していく。また、専門知識のみではなく、授業に関わる技術など教育力向上のための機会についても法人全体の課題として取り組んでいく。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名 前	所 属
三木 哲郎	竹田印刷株式会社 営業第三部 副部長
伊藤 浩二	株式会社アルペン
川橋 康樹	株式会社バウハウス丸栄 取締役執行役員 中部第Ⅱ本部長
山田 雄大	有限会社たけひろ建築工房 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)ホームページにて公開

URL: <http://design.trident.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)ホームページ、広報誌等の刊行物、学生便覧、入学要項

URL:<http://design.trident.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程インテリアデザイン学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デッサンⅠ・Ⅱ	造形活動をおこなう上での根幹的表現力であるデッサンの、伝統的かつ基本的手法を習得する。基本的なものの見方と姿勢を身につける。	1前	120	4	○			○	○			
○			コンポジション	アクリルガッシュ等を使用して平面構成を行い、色と形、そして空間とそれらの関係を理解し、構成する能力を養う。	1前	60	2	○			○		○		
○			デザイン史・色彩概論	デザインの起源から現在までの変遷を、特に近代デザインに重点を置いたデザイン史の知識を身につける。/色彩についての基本的な知識と体系を身につける。	1前	30	1	○			○		○	○	
○			感性教育Ⅰ・Ⅱ	体験的授業手法とグループワークを通し、創作者に求められる感性を育む。	1通	120	4	○			○		○		
○			製図Ⅰ	木造住宅の平面図、立面図、断面図及びかなばかり図の模写をすることにより、製図表現技術の基礎を習得することをねらいとする。	1前	60	2	○			○		○		
○			製図Ⅱ	有名建築の製図表現から学んだり、小住宅の設計をすることから空間を把握し、提案する力を習得する。	1後	60	2	○			○		○		
○			住まいのデザイン	小住宅の基本スケッチ、計画、デザイン、プレゼンまでを学んだり、小さなカフェの課題では動線計画、プランニング、パース、模型までの一連の流れを学ぶ。	1前	120	4	○			○		○	○	
○			インテリアCAD基礎	「Vectorworks」によるCADソフトで線を引いたり、消したり、移動したりと、図面が描けることの基礎的技術を習得することをねらいとする。	1前	60	2	○			○		○		
○			CGⅠ	代表的なグラフィック/ドロー系のソフト「Illustrator」を使って基本的な作図方法を習得する。	1前	60	2	○			○		○		
○			設計演習Ⅰ	自分の住んでみたい家を考え、それを実際の空間にできることや、オープンテラスのあるカフェのデザインの基礎を学ぶことを目的とする。	1後	120	4	○			○		○		
○			インテリアCADⅠ	自分で設計した住宅をCADソフト(Vectorworks)によって制作し、CGソフト(SketchUp)による3DCAD表現を習得する。	1後	60	2	○			○		○		

○		卒業制作	二年間の集大成として住空間または商空間デザインについての課題を各自が設定し、社会へ提案する力を習得する。	2 後	120	4	○	○	○		
○		キャリアデザインⅢ	自己分析や社会、企業などの理解を通して、職業選択をする。	3 前	30	1	○	○	○		
○		就職研究Ⅰ・Ⅱ	個々の学生の目標業種に応じた取組みを行い、また、就職活動の状況を把握し、効果的に就活を進めるための総合的サポートをおこなう。	3 通	60	2	○	○	○		
合計		科目		2070単位時間(69単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
進級・卒業は、当年次に必須科目を全て単位取得して、進級もしくは卒業判定会議で承認されること。 (留意事項)		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。